

和歌山大学 食農総合研究教育センター NewsLetter

令和4年3月31日
発行

No.2

当センターは、和歌山大学 紀伊半島価値共創基幹“Kii-Plus（キープラス）”の一つの柱を担う組織として、食と農林水産業の分野に関わる研究活動や、学術研究の発展と地域社会との連携、地域貢献機能の強化に資することを目的に設立されました。今年度も、コロナ禍ではありましたが、県内外の地域の方々と連携しながらオンライン等を活用し、様々な研究教育活動を行うことができました。今年度の活動内容につきまして皆さまにご報告致します。

引き続き、当センターへのご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

TOPICS

都市農業振興のための産官学包括連携協定を締結！

和歌山市、わかやま農業協同組合及び和歌山大学は、それぞれが有する資源を活用し、広く連携・協力を進めることにより、都市農業の振興に資することを目的として、令和3年8月2日に協定締結式を行いました。現在、寄付講義、共同研究などを行っていますが、今後も都市農業に関する研究の実施、技術・施策の情報交換、都市農業の担い手育成、学生への食農教育、都市農業の多面的役割への理解促進に関すること等について、共に連携をしながら進めていきます。



地域課題の解決を目指した研究プロジェクトの推進

—— 本センターの研究プロジェクトの一部をご紹介します ——

地域主導型果樹産地 スマート農業の推進



田辺市上秋津地域において、農研機構の支援を受け、ルーラルウエザーネットワーク（微気象ネットワーク）とアグリオン農作業日誌（既存のアプリケーション農作業日誌）の導入によって、データを蓄積・分析し、篤農家やベテラン農家の作業内容や時間を農家が共有し、効率の良い農業のあり方を検討しました。

また、自走除草機導入により除草の省力化体系についても実証実験を行いました。

「地域の6次産業化」 社会実装モデル

いわでもよいよい推進事業ローカルブランディング計画（和歌山県岩出市）



岩出市の行政や商工会青年部員をはじめとする有志プロジェクトチームと検討と試作を重ねてきた特産品開発事業です。今年度は「根来ばふえ」という名称で、道の駅等で販売を開始しました。ソフトとあられを使用した商品は消費者からも高い評価を得ることができ、来年度以降、市内の各飲食店での販売展開を目指します。

農家民泊（農村女性） 研修プログラム開発



昨年、紀美野町の民泊受け入れ家庭に対し行った研修等への希望調査を元に「コロナ対策講習」、「紀美野の家庭料理やフルーツアート、草木を使った体験等のアーカイブ化」を行いました。またインバウンド対応の指さしパネルや各家庭の紹介文を多言語で作成しました。

秋頃から県内からの日帰り体験や小学生の民泊受け入れも、徐々に復活しており、研修を行い衛生管理に留意しつつ久しぶりに皆で楽しい交流のひとつを持つことができました。

棚田保全と都市農村交流



今年度は、静岡県、徳島県上勝町の棚田保全地域へ、和歌山県職員と共にヒアリング調査に行き、棚田活動の様子や課題等を協議会や住民らから聞くことができました。

また現地視察の報告書を作成し、現在、当センターが関わっている紀美野町にて、支所職員や住民達を対象に報告会を開催するとともに、都市農村交流活動を導入した新たな棚田保全活動の在り方に向けて、各種の提言活動を行っています。

那智勝浦色川地区の新商品開発



那智勝浦町色川地区の活性化を目指し、学生とともに、新商品開発の可能性を検討しました。商品のコンセプトづくりや組織づくり、資金計画、広報や販路の検討などを行い、実際に試作品をつくり、アンケート調査を実施しました。

地域資源である「ほうじ茶」を活用したクラフトビールを検討しましたが、酒税法への対応や資金確保などの様々なハードルがあることを確認しました。今後も、商品開発に関して地域と協議を続けます。

学生関係人口創出に係るマッチングアプリケーションシステムの構築



システム工学部の教員が中心となり、和歌山県との連携のもと、若い担い手が不足した地域と学生をつなぎ、関係人口を創出する学生目線に立った魅力的なコンテンツを含んだマッチングアプリケーションの開発を行いました。受入地域と学生からの意見を取り入れながら、開発に着手しました。

研究成果を
活用した

「学び(教育活動・講義)」

食と農のこれからを考える (JAわかやま 寄付講義) 等

学内外から「食と農」に関わりの深い講師をお招きして現場の「ナマの声」を聞くこと

のできる講義となっており今年度で4年目を迎えました。人数を制限し、

対面で行い農林水産業の現場に携わる実践者、また研究者から話を聞くことができました。令和4年度も10月から開講致します。

皆さんも、是非受講をご検討ください。



information

令和3年6月22日に地域おこし協力隊に関する準備会を発足し、7月29日に第1回和歌山県地域おこし協力隊ネットワークセミナーを実施しました。さらに11月18日には協力隊のネットワーキングを行い、令和4年2月17日には、第2回目の和歌山県地域おこし協力隊ネットワークセミナーを開催しました。和歌山県内の地域おこし協力隊の横の連携や卒業した隊員とのネットワークづくりに努めています。

< 編集・発行 >

和歌山大学 紀伊半島価値共創基幹 “Kii-Plus”
食農総合研究教育センター

〒640-8510 和歌山市栄谷930

和歌山大学 東3号館1階

TEL : 073-457-7126

URL : <https://www.wakayama-u.ac.jp/food-agri/>



国立大学法人
和歌山大学